



プロジェクト・アドベンチャー

# 国際的な教育改革の潮流を指針に 受動的な子供を主体的・能動的な創造者へ

### 注目ポイント

- 1 計画、行動、振り返りのAARサイクルによる成長。
- 2 宇宙飛行士養成のノウハウを応用した独自の評価指標。
- 3 高度な教育を取り入れる余白を生み出すためにICTを活用。

OECDが提唱したAARを独自の学習プログラムに導入

海城では、OECD（経済協力開発機構）が打ち出す世界の教育の潮流の最先端に着目し、その考え方を授業や行事に積極的に取り入れている。18年、OECDは世界の学校教育の指針となる「Education 2030」の中間発表において、「2030年に世界を幸福にするのは新たな価値を主体的・能動的に創造できる人であり、その育成のためには「知識（何を知っているか）」「スキル（知っていることをどう使うか）」「人間性（社会とどのように関わっていくか）」の育成と、「メタ認知」と呼ばれる自分自身を客観的に捉え、俯瞰する力の育成が、重要であることを示

唆した。ところが実際は、同校においても、入学してくる生徒たちの中には、保護者や塾に手厚く守られ導かれてきた依存心の強い「受動的な学習者」が増えてきているという。そこで同校では生徒たちを6年間かけて自立させ、主体的・能動的な創り手に育て直すために、グループで課題を解決しながら人間関係を構築する中1、中2の体験学習「プロジェクト・アドベンチャー（PA）」、演劇的な手法を用いて人間関係や創造性を養う中2、中3の「ドラマ・エデュケーション（DE）」、さらに中2から高1を対象に、各教科の授業枠、教科枠に収まりきらない「尖った」興味・関心を深掘りする学びの場「KSプロジェクト」など、オリジナルの学習プログラムを構築している。

OECDは19年5月に「学びの羅針盤2030」の中で、子供を成長させるには「AAR」、すなわち「Anticipation（計画）」「Action（行動）」「Reflection（振り返り）」のサイクルの確立が重要であると発表した。それを参照の上、「PA」「DE」

「KSプロジェクト」に落とし込んで、「AAR」サイクルを習慣化している。例えば体験学習の際には、必ずその体験で何を身につけるのか、事前に「獲得目標」を自覚させる。そして、事後に「振り返り」や「他者による評価」を行う。できると思っていたことができなかつたなど、時には事前より事後の方が自身の評価が低くなる時もある。何が悪かったのか、よくするために何が必要なのかを考察することこそ、成長の種がある。

JAXAとの共創事業で見えない能力の評価方法を確立

同校はJAXA（宇宙航空研究開発機構）が進めている「次世代型教育事業創出の研究」の実証協力校だ。その目的は「非認知スキル」、すなわち主体性、多様性、協働性、学びに向かう力、人間性など、可視化が難しいけれども大切な能力を生徒がどれくらい持っているのか自己評価できる評価方法と、不足する「非認知スキル」を育成するための教材の開発にある。宇宙において、国籍や専門が違えばメンバードでひとたび対立や葛藤が起これば生命の危機に直結する。そのためJAXAは宇宙飛行士の「非認知スキル」を上げる訓練法や

評価法のノウハウを持っている。これを学校教育に活かそうというわけだ。研究途上のため多くは明らかにできないが、同校ではすでに「AARサイクル」の実践の中でそれらを取り入れ、成果を上げ始めている。

ICTの授業での活用で「振り返り」の余白を生み出す

このような学びを学校で取り入れるためには、多くの時間が必要になる。しかし、「知識」「スキル」の部分もおろそかにはできない。同校では、授業や自宅学習を含む「個別学習」にも、アクティブラーニングやグループワークなどの「協働学習」にもICTを積極的に導入することで、生徒や教員のオーバーワークを解消し、「AARサイクル」において最も大切な「振り返り」を行うことができる余白を生み出している。

文部科学省の新しい「学習指導要領」は、日本独自の施策ではなく世界の潮流に則って作成されたものだ。共通テストの導入に向けて多少のブレや後退があっても、これからの世界で必要とされる力は変わらない。同校は怯むことなく、最先端の教育を生徒に実践している。



先生方がICTを活用した授業の準備をするためのICTLAB

## SCHOOL DATA

設立	1891年
併設校	海城高等学校
生徒数	(1年)332名
クラス編成	(原則)40名
授業時間	8:35~14:55 (土)~12:25

海外交流校	有
帰国生入試	有
交通	新大久保駅(JR山手線)徒歩5分、 西早稲田駅(東京メトロ副都心線)徒歩8分

大学合格実績(過去3年間)	東京、一橋、東京工業、京都、東京医科歯科、東京外国語、早稲田、慶應義塾、上智、東京理科、東京慈恵会医科、順天堂など
---------------	---